



# むすぶ

読書は恋愛と同じ。合わない本といつまでも付き合わず、どんどん次の本を読んで、好きな本を見付けければいいんです。  
学校司書佐々木さん

平成27年度

## 幼少期からの 読書活動の推進



幼少期から読書に親しむ機会を充実させるため、年代に応じて参加できる読書イベントを開催します！

### 1 読書絵はがきコンクールの開催

対象：幼児から中学生まで

内容：本を読んで感じたおはなしの世界を、家族や友達に伝える読書絵はがきを募集します。応募全作品を秋田県児童会館に展示するほか、優秀作品を表彰します。

募集：7月1日（水）～9月25日（金）

### 2 ビブリオバトルの開催

対象：高校生、大学生

内容：発表者がお薦めの本を持ち寄って紹介し、参加者全員で一番読みたくなった本（チャンプ本）を決める知的書評合戦です。今年度は地区大会を増やし、勝ち抜いた高校生による全県大会を実施し、全国大会につなげます。

高校生全県大会：11月1日（日）

### 3 秋田県読書フェスタの開催

対象：幼児から大人まで

内容：本のおもしろさや読書の楽しさを体験できる読書イベントの開催を呼びかけ、それらをまとめたパンフレットを作成して広報します。

期間：10月24日（土）～11月3日（火）

県立図書館の「打って出る図書館」により、地域の読書活動推進を支援します！

### 1 市町村立図書館と公民館図書室の訪問

県北、県央、県南を専任担当する司書が計画的に訪問し、地域の実情に応じた情報提供や助言を行います。

### 2 図書館等の求めに応じた研修支援

図書館職員やボランティアのスキルアップ研修等の相談に応じます。

### 3 図書館にある図書資料の積極的貸出

市町村の図書館や図書室、県立学校図書館に長期貸出、セット貸出等を行います。

## 子どもの読書活動優秀実践図書館・個人 文部科学大臣表彰 受賞報告会

文部科学省は、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において、特色ある優れた実践を行っている学校、図書館及び団体（個人）に対し、その実践を称え表彰しています。

今年度、秋田県から表彰されたのは、次の学校、図書館、個人です。

5月18日（月）、優秀実践図書館と個人表彰の報告会が県庁第二庁舎で行われました。

- 📖 優秀実践学校  
小坂町立小坂小学校  
にかほ市立仁賀保中学校  
秋田県立秋田北高等学校
- 📖 優秀実践図書館  
潟上市図書館
- 📖 優秀実践個人  
土倉泰子氏（由利本荘市）



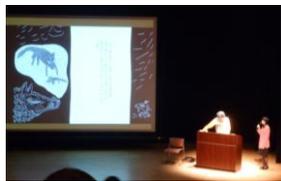
報告会で受賞の喜びを語った潟上市図書館長と土倉氏

米田教育長からは、受賞のお祝いの言葉とともに、「豊かな人生を送るために読書は大切。特に子どもの読書は、みなさんのように本と出会わせてくれる方の存在が重要なので、今後も是非継続してほしい。」との激励がありました。

# 子どもたちの瞳きらきら！ 絵本に親しむ読書イベント

大人になっても読書に親しむためには、幼少期の読書の習慣付けが重要であることから、家庭はもとより、地域の図書館や幼稚園、学校等において、大人たちが絵本に親しむ機会をつくっています。

## きむらゆういち絵本らいぶ in 羽後町



木村氏と図書館長によるドラマチックな「読み聞かせ」

4月28日(火)、羽後町文化交流施設「美里音」で、町立図書館主催の絵本作家木村裕一氏による絵本らいぶが開催されました。「絵本が育てる子どもの夢」をテーマに、町内6つの小学校の1～3年生とボランティアなど約350人が参加し、『あらしのよるに』『オオカミグーのはずかしいひみつ』の読み聞かせ、クイズ、工作などを楽しみました。

作者自身の思いを込めた読み聞かせに加えて、スクリーンに映し出される絵と効果的なBGMの演出により、子どもたちはおはなしの世界に浸りきっているようでした。原田図書館長は、「これを機会に学校や町の図書館を大いに活用してください。」と、会場の子どもたちに呼びかけていました。

## 講談社全国訪問おはなし隊 in 秋田市

キャラバンカーに約550冊の本を積んで全国を回る絵本巡回車が、6月5日まで県内各地を訪問中です。



夢中になってお話を聞く園児たち

5月7日(木)は、秋田市の認定こども園・外旭川わんわんこども園を訪れ、約190名の園児が絵本や紙芝居を楽しみました。村上園長先生は「子どもたちが絵本に親しむきっかけづくりとしてくれればいいですね。」と話していました。



キャラバンカーから気に入った本を見つけては、思い思いに絵本を読み始める園児たち



## 素敵な学校図書館 見つけた～!!



### 図書室は「リリーの部屋」

秋田市立広面小学校

高橋校長先生の名前の入った「リリーの部屋」と看板が掲げられ、校長先生直営のような図書館です。



長休み時間の様子

開館する休み時間になると、校長先生はエプロンを着けて図書室に向かいます。そこで、子どもたちの読書活動を見守り、話し相手になります。また、図書館オリエンテーションを行ったり、親子読書を全校で推進したりしています。この日、夢中になって本を読んでいた3年生の子どもたちは、「図書室も本も、だ～い好き!」「毎日来てるんだよ。」と口々に話していました。

### 今どきの高校生の心をキャッチ

秋田県立由利工業高等学校

「これ、おもしろかった～」と言いながら、男子生徒が本を返却。そして、次の本を探そうと向かった先の書架には、「本屋大賞他ノミネート作品」「(半沢直樹でおなじみの)池井戸潤特集」「おいしい生活(料理本特集)」「偉人の功績を知ろう(校長先生がお薦めの本を含む)」「ブックトークで紹介した本」などのテーマ展示がなされていました。



市立図書館による中島京子講演会へと誘うカウンター展示

「何を読めばいいかわからない。」という生徒の心に届くよう、多様なテーマが魅力的です。

### 競技を盛り上げる

## 体育館の図書コーナー



当時の新聞記事を手にし、感激する三宅氏

5月14日(木)～17日(日)まで、三種町琴丘総合体育館で、「全日本マスターズウェイトリフティング競技選手権大会」が開催されました。この大会には、東京オリンピック金メダリスト三宅義信氏を始め、往年の名選手が揃いました。

そこで、鎌田教育長が収集していた東京オリンピックの新聞等を体育館の図書コーナーに展示しました。期間中、訪れたたくさんの方が、思いがけないおもてなしに喜んでいました。

秋田県教育庁生涯学習課  
生涯学習・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>